

一般国道307号（都市計画道路 ^{うじたわらやまてせん} 宇治田原山手線）
（宇治田原町 ^{いぢやま} 岩山 ^{ごうのくち}～郷之口）

一般国道307号は、滋賀県彦根市を起点とし、宇治田原町、城陽市、京田辺市を經由して、大阪府枚方市に至る幹線道路で、京奈和自動車道等の広域幹線に連絡し、災害時に重要な役割を担う第2次緊急輸送道路であります。

しかし、宇治田原町域では、通勤時に渋滞が発生し、また平成25年の台風18号の際には国道307号が全面通行止めにより町内の交通機能が麻痺するなど、その代替道路が求められており、平成35年度供用予定の新名神高速道路の（仮称）宇治田原インターチェンジへのアクセス道路としても大いに期待されるとともに、宇治田原町の新市街地形成に大きく寄与します。

このため今年度、最適ルートや工法の検討、費用対効果算出、優先整備区間の検討など、新規事業化に向けた事業着手準備調査を実施します。

◎事業概要

事業着手準備調査 C=3.5百万円
延長 L=5.5km

◎事業効果

- バイパス整備により、現道の渋滞を解消し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 高速道路へのアクセス向上により、新たなまちづくりに寄与し、地域産業の振興や交流人口拡大等が図られます。

現道の状況



現道の渋滞状況



平成25年の被災状況

位置図

